

R6年度の予算案に盛り込まれました

6年度の予算案は、①物価高騰から市民の暮らしを守る施策がない ②他の自治体と比べて福祉が立ち遅れていることがそのまま ③公共事業も西港や鉄道高架などの事業が中心で、市民要望の強い市営住宅が後回しにされている などの問題があります。一方、大楽毛・音別の津波避難タワーの建設などが盛り込まれるなど、市民要望が実った点もあります。今回は、そうした内容を紹介させていただきます。

コミセンや阿寒公民館に

『W・F』がきます

「今までなかったの？」という声が出そうですが、やっとワイ・ファイが設置され、気軽にインターネットも使えるようになります。村上議員も実際に、コア鳥取や阿寒公民館を借りて、ワイ・ファイがないことで四苦八苦しました。

こうした経験も踏まえて、ワイ・ファイ設置を繰り返し求めてきました。市内三館、阿寒公民館、音別コミセンが対象です。

クールシエルトーの役割も

昨年は猛暑で本当に大変でした。

コア三館と阿寒公民館、音別コミセン、阿寒湖まりむ館に、猛暑の時に誰でも逃げ込めるエアコンのある「クールシエルトー」がつけられます。

阿寒公民館、

まりむ館、音別

コミセンは和

室、コア三館は

図書室を予定し

ています。

猛暑のときは

遠慮せず来てい

ただいて、体調

を整えてくださ

い。

酪農後継者や新規就農者へ

補助が大幅拡大



釧根の酪農業の大きな問題が担い手不足です。村上議員は浜中で実施している制度を参考にしながら、就農して5年間、毎

月一定の補助金を交付すべきと求めてきました。

釧路市は新規就農の方には、就農時に百万円を補助する制度がありました。補助は一回だけ。しかも新規就農だけが対象で、将来的には親の酪農を継ぐために、子どもが後継者となって就農した場合には補助の対象にすらなっていないませんでした。

今回、新規就農だけでなく、Uターン

で戻ってきた後継者にも支援を広げること、就農時の百万円だけでなく、2年目、3年目も条件はありますが、百万円ずつ、合計3百万の助成をするところが提案されました。

阿寒の3校の教室には

エアコン設置

とくに暑さの厳しい阿寒小学校、阿寒中学校、阿寒湖義務教育学校の教室にエアコンが入ります。

しかし、他の学校はエアコンがいないというのは納得できません。全校でのエアコン設置を求めていきます。

(他の学校は、保健室にだけエアコンが設置されています。)